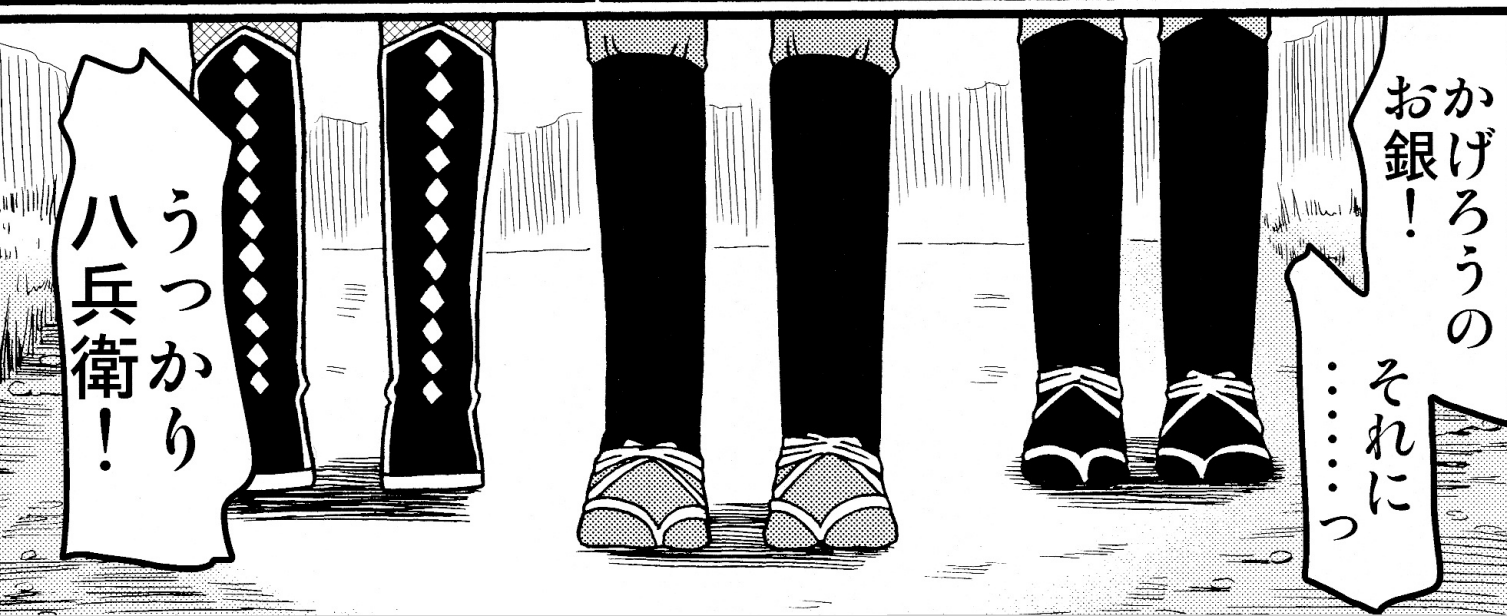
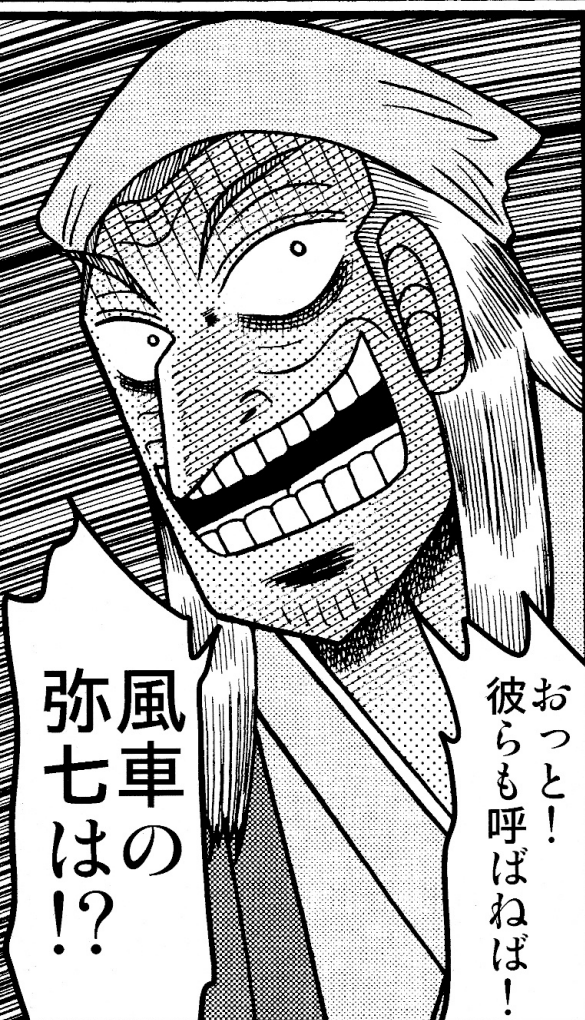
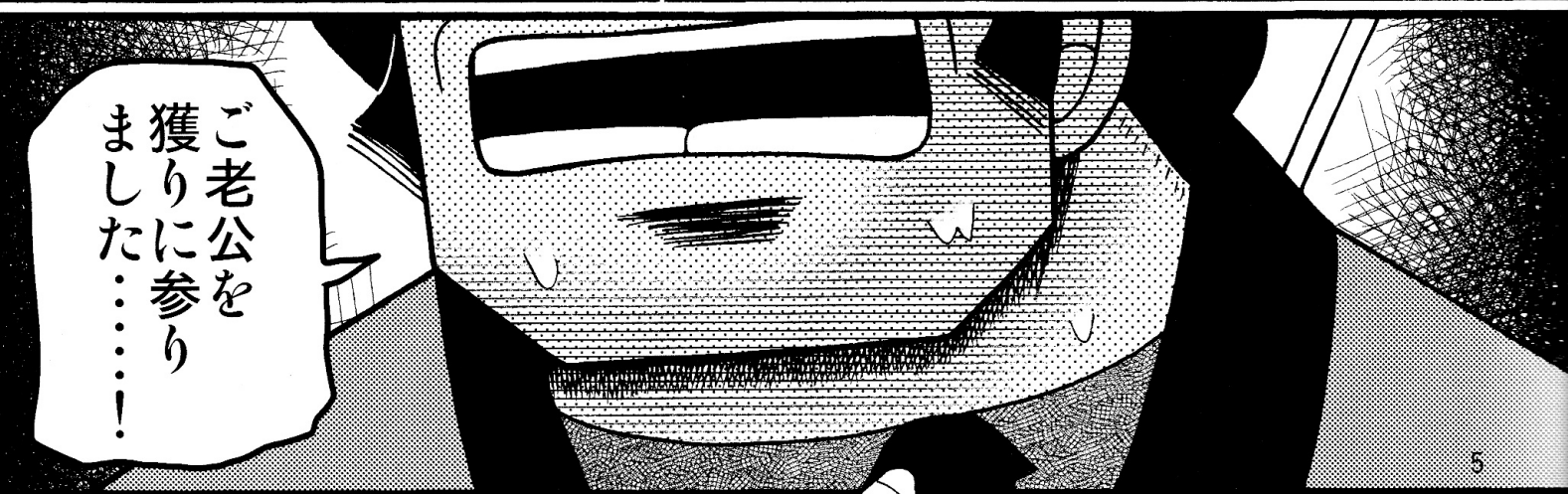
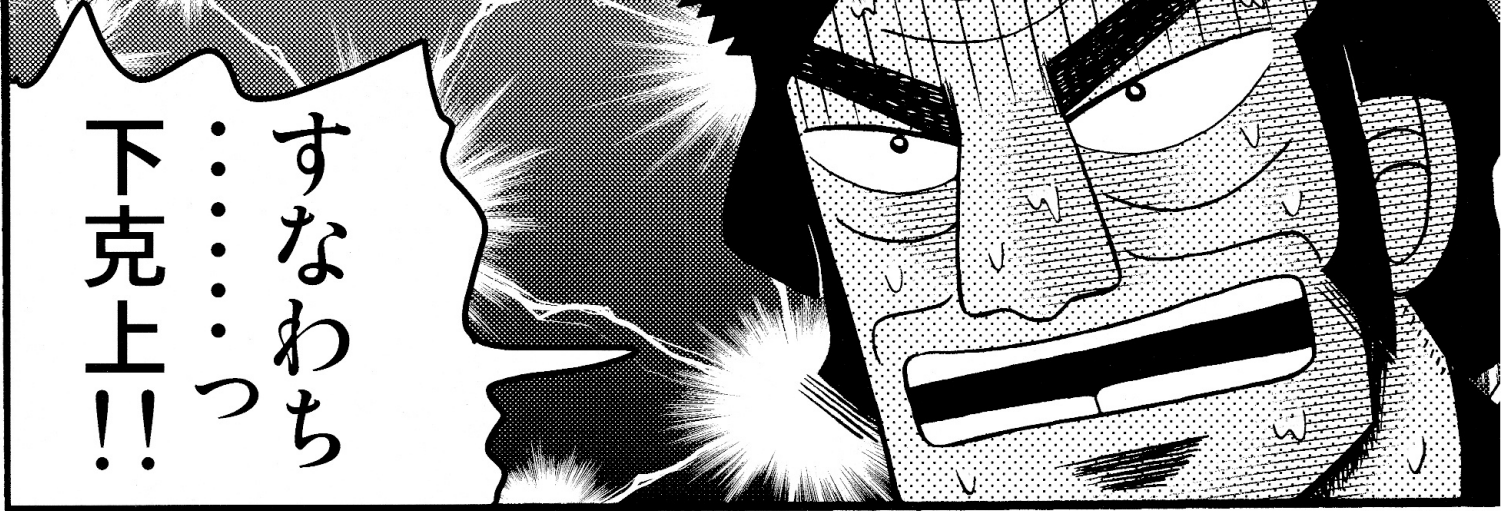
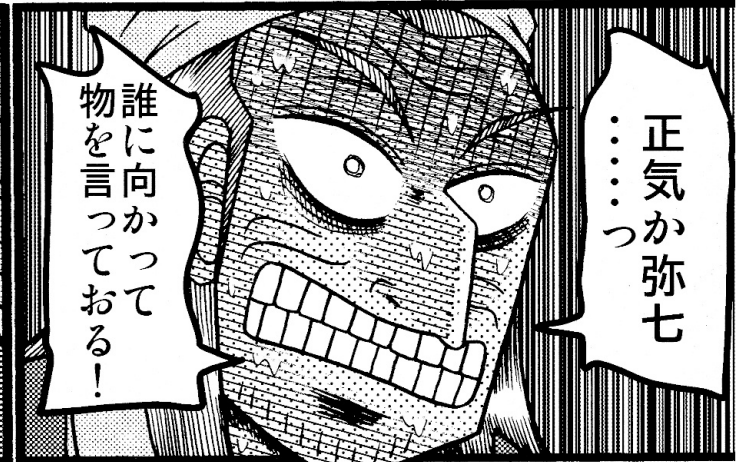
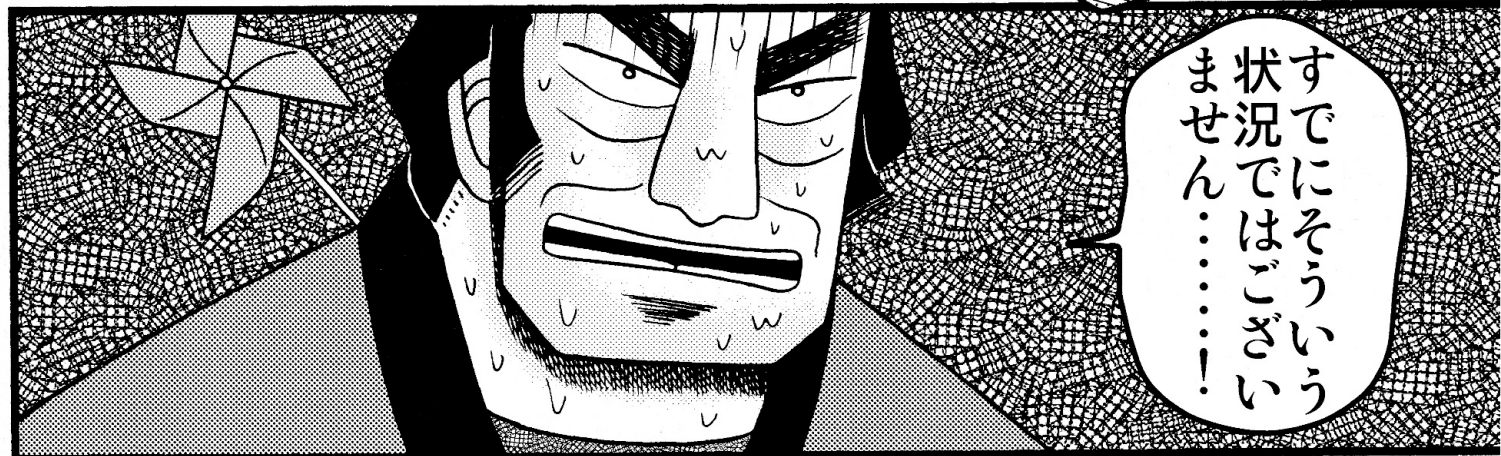
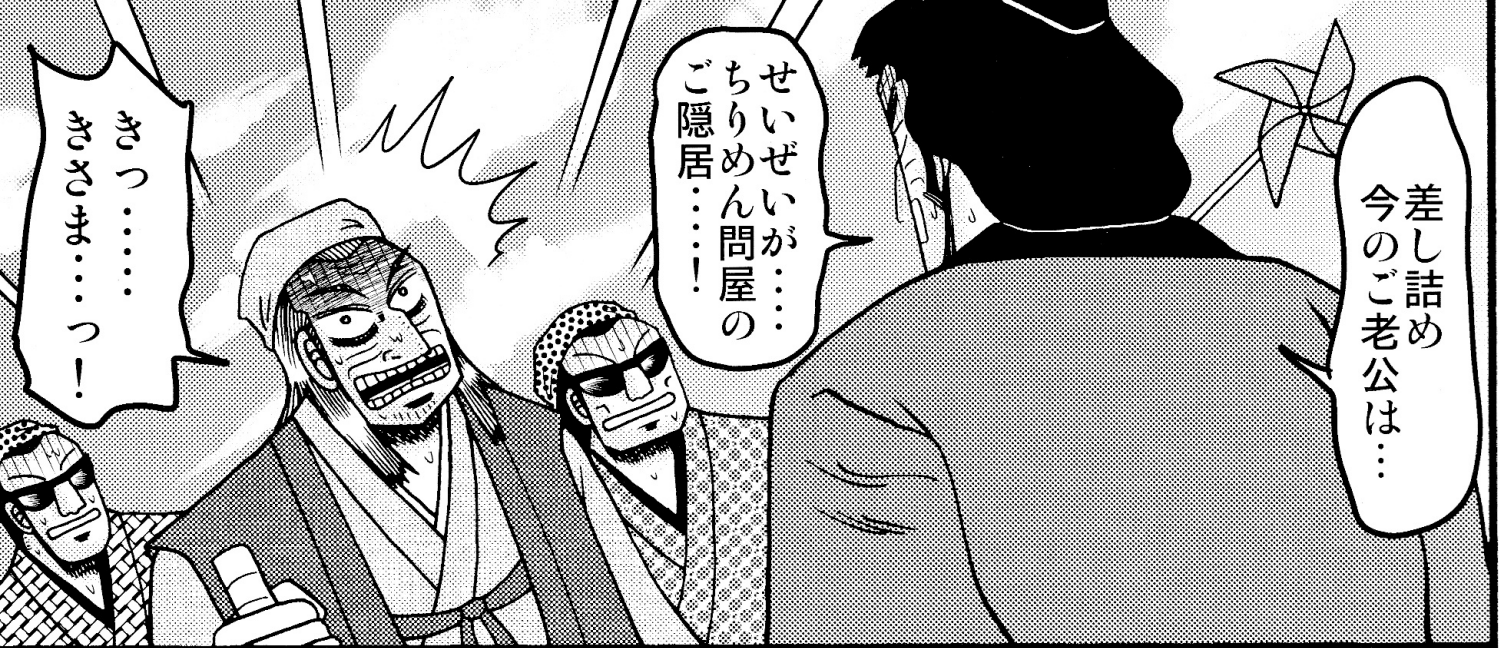
君の名はうつかり

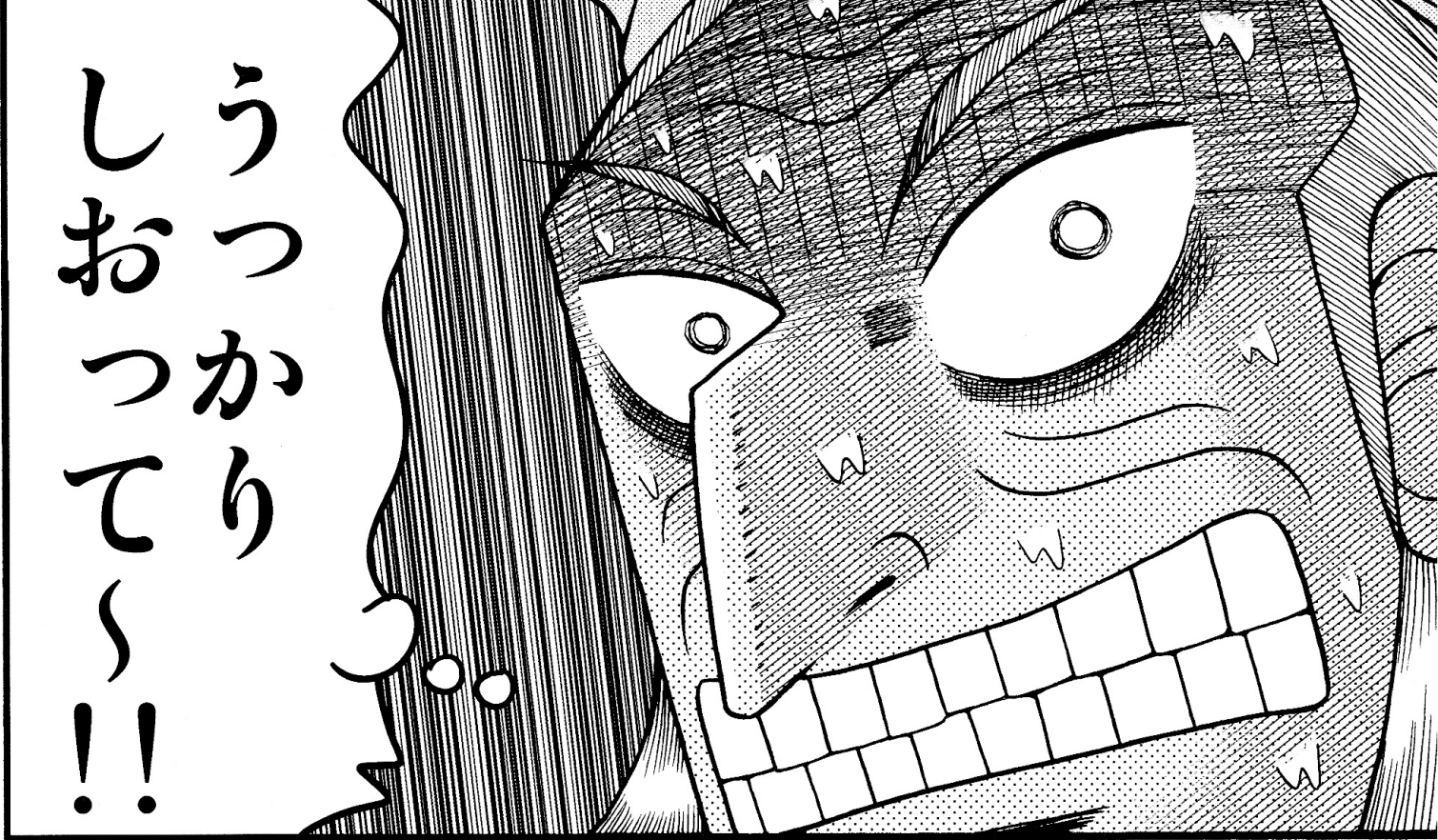
下克上

無料配布

元禄十三年（西暦一七〇〇年）五代将軍綱吉の治世
常陸の国（今の茨城県）に「天下の副将軍」と称される名君がいた
二代水戸藩主、徳川光圀である――!!
徳川光圀（水戸黄門）
くくくくく………
「天下の副将軍」………！
王たるこのわしにふさわしき異名では無いか……！

助さん！
はっ！
佐々木助三郎
格さん！
ははっ！
渥美格之進
早速旅支度をせい！
諸国漫遊…世直し旅じゃっ！
はいっ！
おっと！彼らも呼ばねば！
風車の弥七は!?
かげろうのお銀！
それに……っ
うっかり八兵衛！

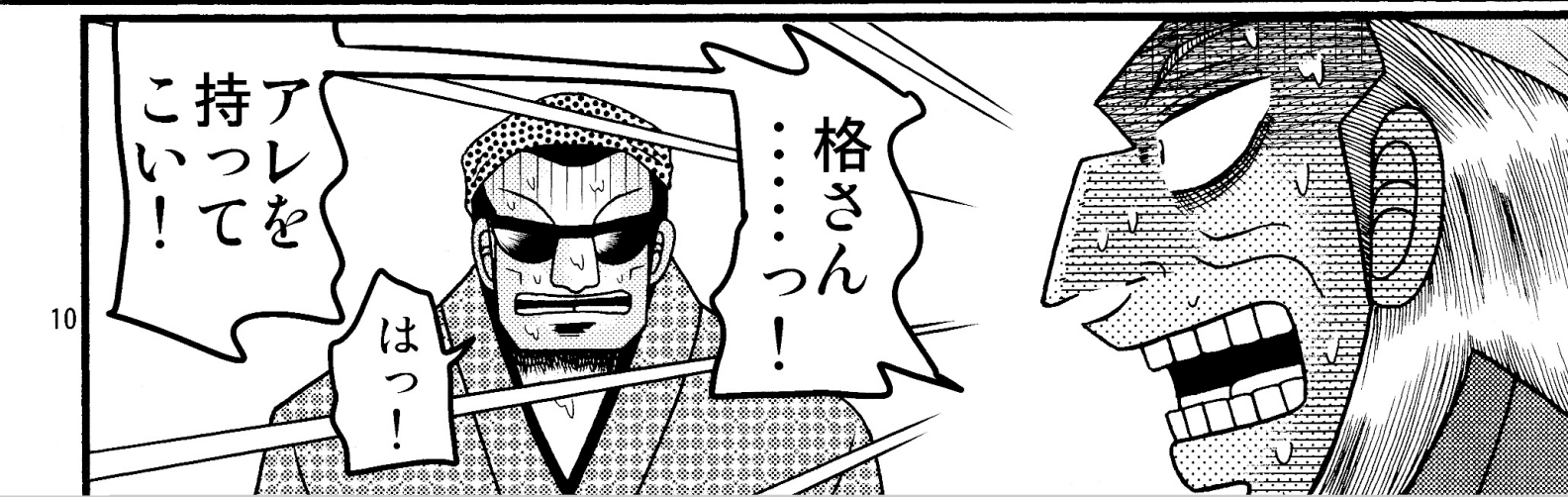
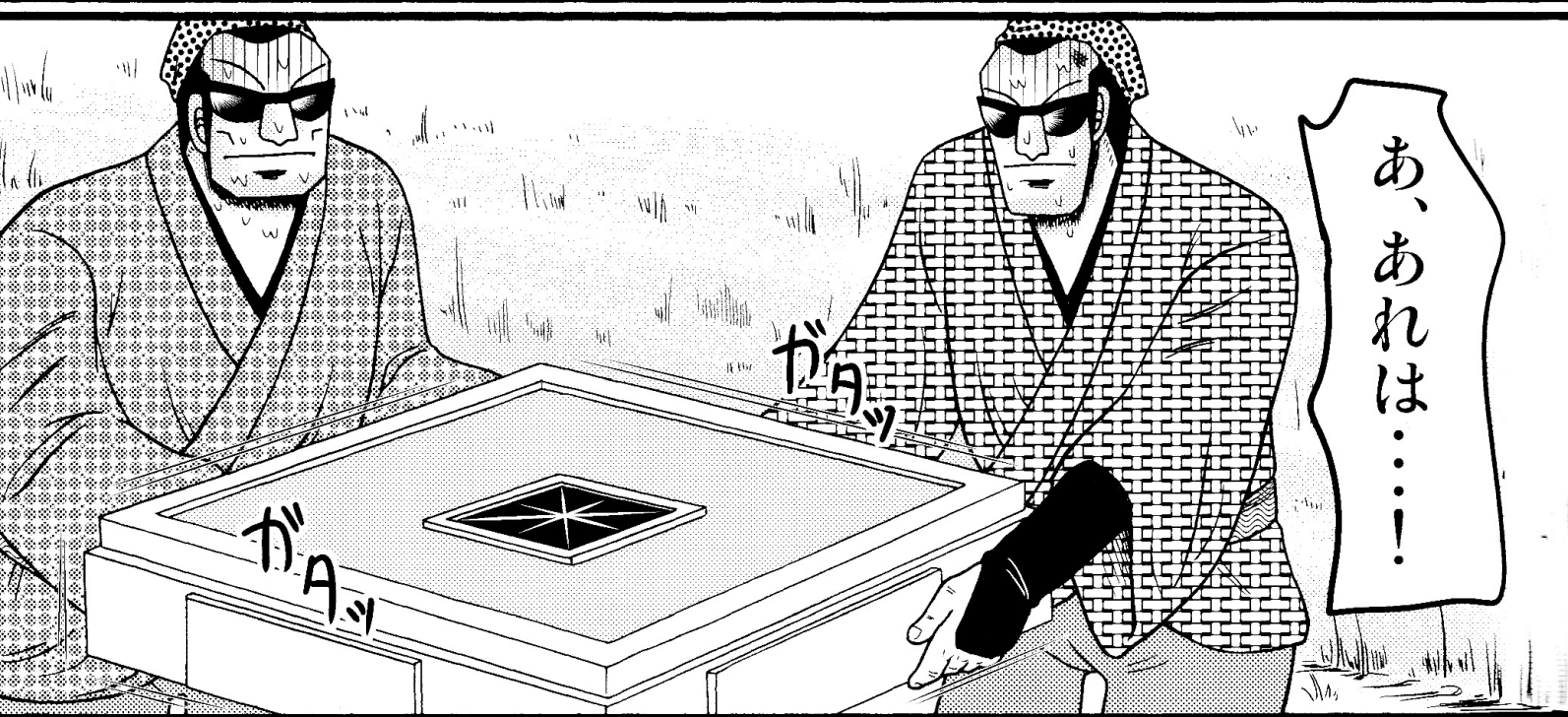
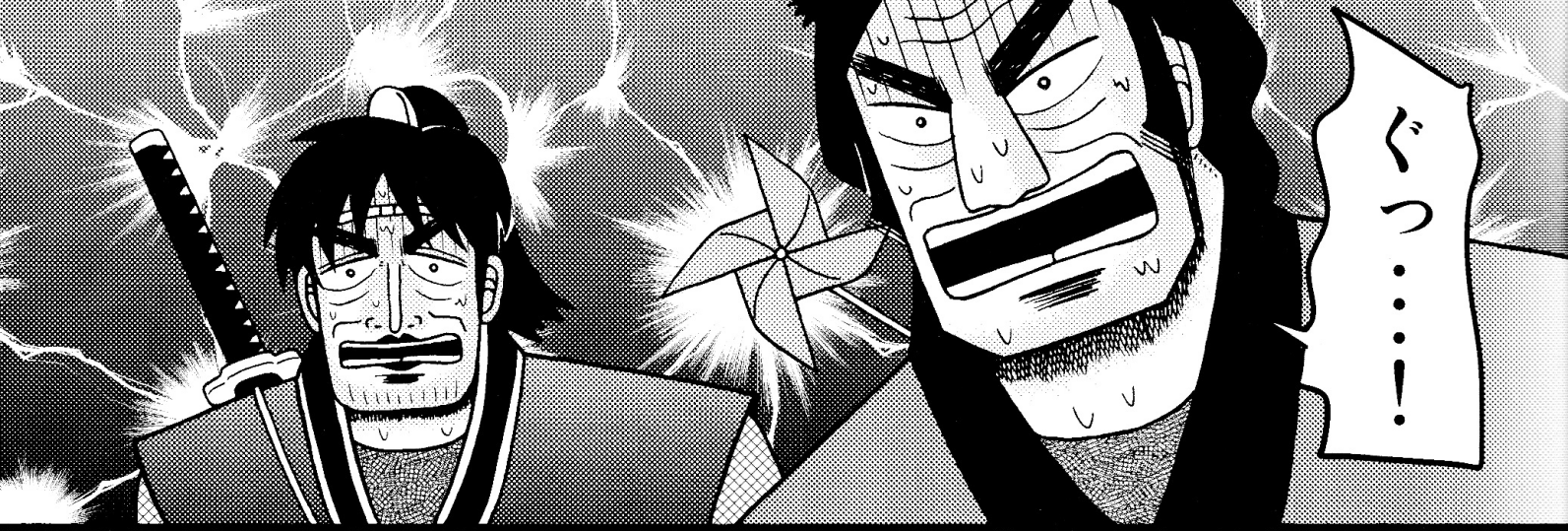
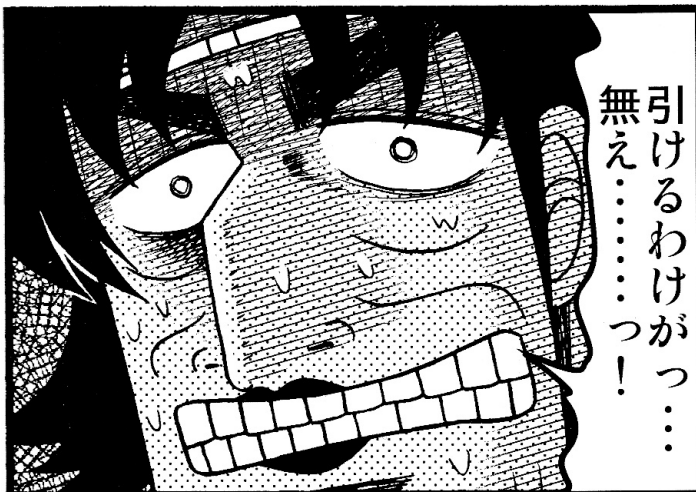
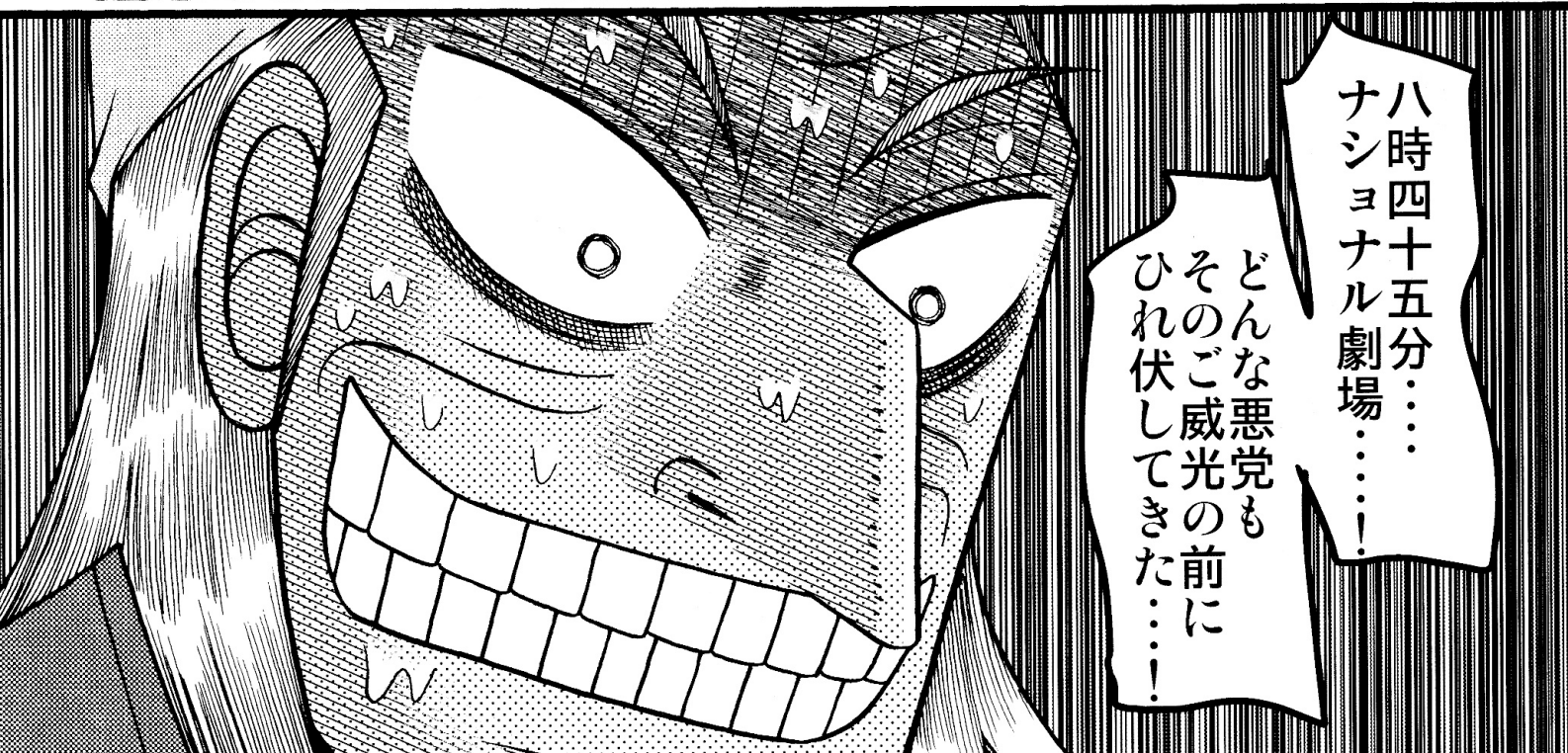
ざわ…っ

失礼ながら…
ご老公…
本日……
我々は……
風車の弥七
ご老公との…
諸国漫遊…
ほがらかな
旅路の同行に
はせ参じた
訳ではござい
ませぬ……
ご老公を
獲りに参り
ました……！
この……
うっかり八兵衛を
使って……っ！
うっかり八兵衛

すなわち……っ
下克上!!
正気か弥七……っ
誰に向かって物を言っておる!
この……っ天下の副将軍にむかって…
失礼ながら…
すでにそういう状況ではございません……!
生類憐れみの令への批判が綱吉公のご不興を買い
用人柳沢吉保の暗躍を許しご老公のご威光も凋落の一途……!
もう怖くはありません……!

差し詰め
今のご老公は…
せいぜいが…
ちりめん問屋の
ご隠居……！
きっ……
きさま……っ！
弥七…っ！
お持ちをっ
ご老公…！
連中の挑発に
乗ってはいけません
助さん…
相手は所詮
忍びとくのいち
それに…
うっかり者
ご老公が相手を
する様な輩では
ございませぬ…
ぐ……
……？……
あ、あやつ…
ヅ………
ヅラが……！
ヅラがずれて
おるではないか
………！

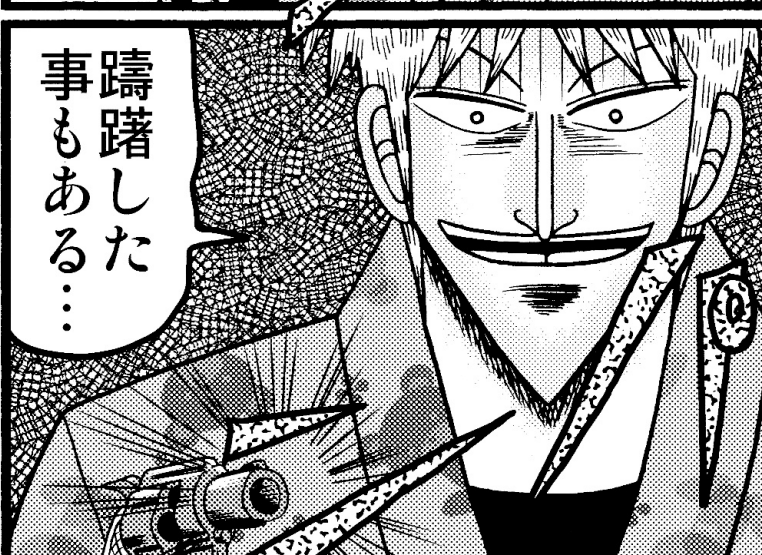
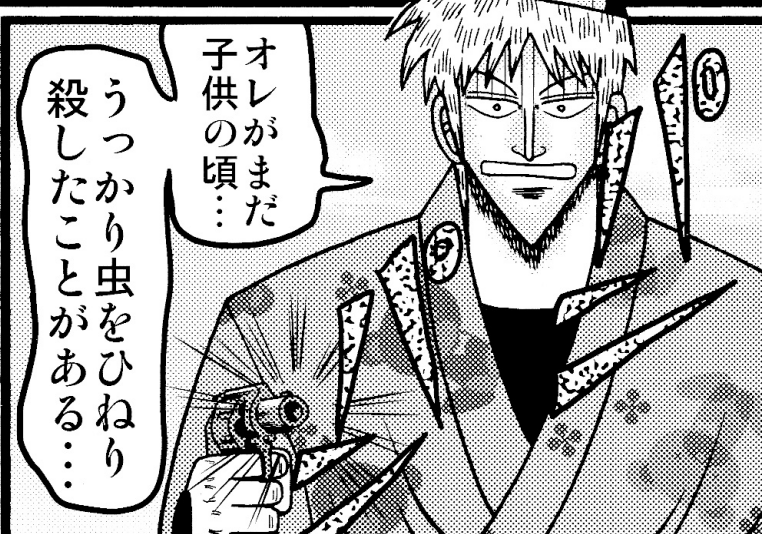
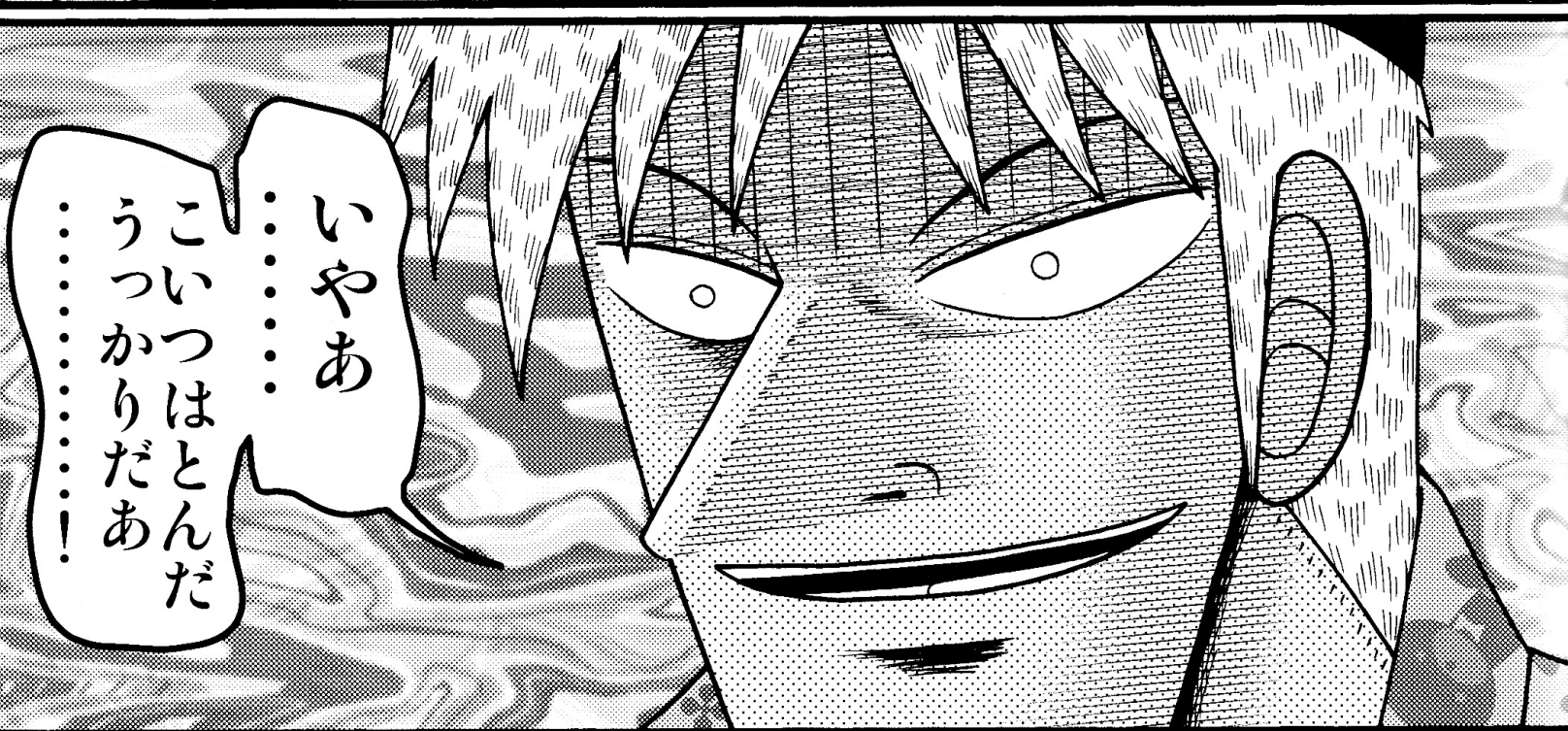
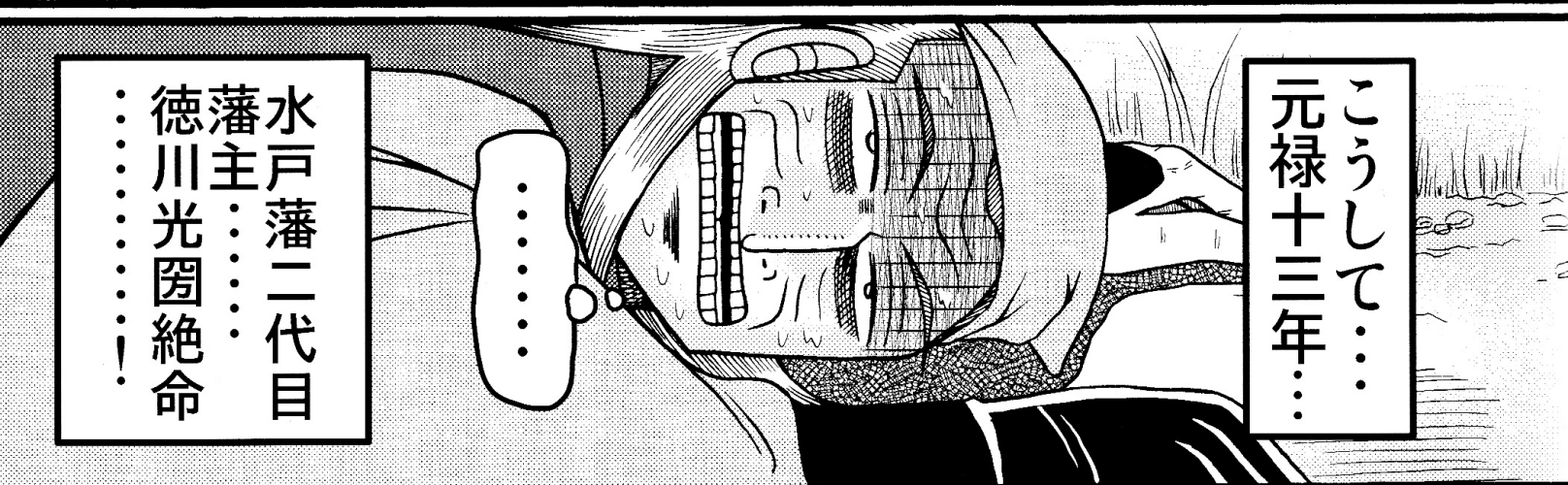
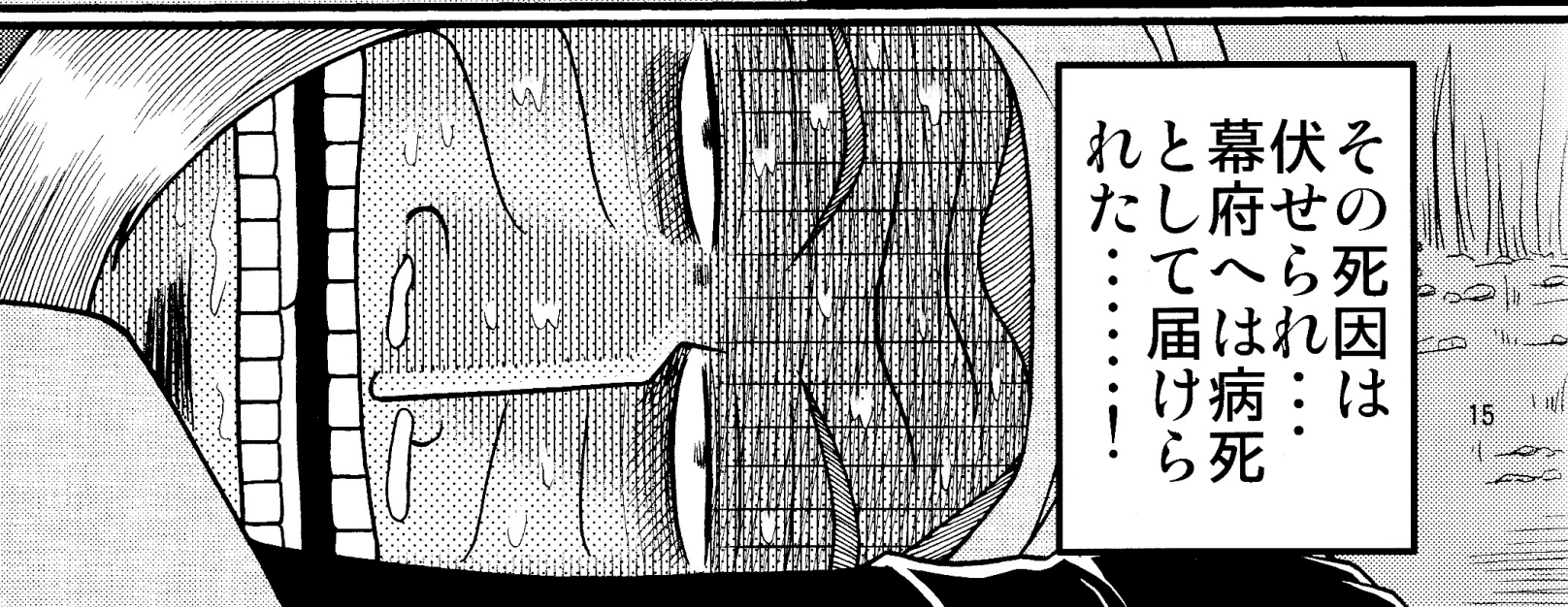
うっかりしおって〜!!
…
八兵衛……っ
あの…八兵衛の不適な表情……!
ご冷静にっご老公……!
うっかり…
奴め…ただのうっかり者ではありませぬ…!
うっかり…
何かのワナやも知れませぬ……!
く……っ
おやおやどうした……?
来ないのかいご隠居さん……?

水戸藩2代目藩主
世に名君として知れ渡り「天下の副将軍」とまで呼ばれた男が・・・
ただのうっかり者を恐れるのかよ・・・?

意外に臆病だな・・・
水戸光圀・・・!

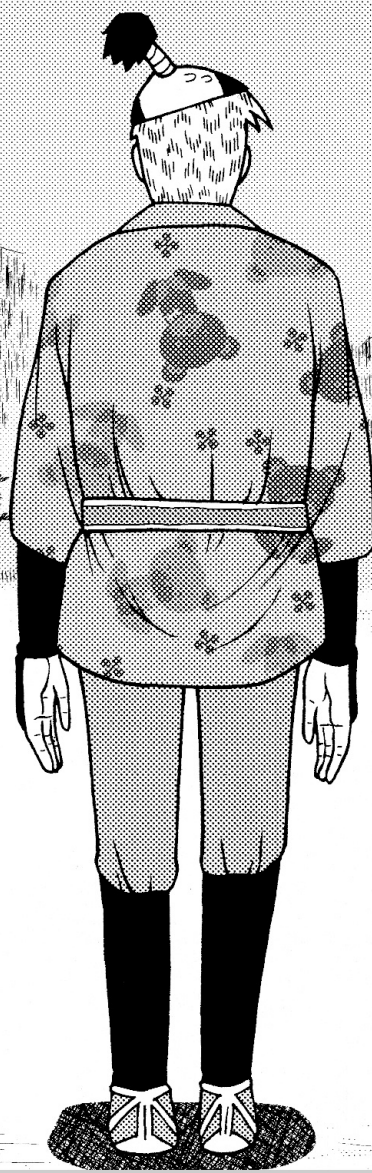
こいつっ・・・!

殺す・・・・・・・・・っ！
いけませぬ ご老公！
ええ～い放せぃ！
この水戸光圀ともあろう者が・・・・
ぐわーっ
うっかり者に嘗められたまま黙っておれぬわ～っ！
格さん・・・・っ！
アレを持ってこい！
はっ！

ぐっ……!
あ、あれは……!
ガタッ
ガタッ
印籠麻雀……!
印籠麻雀

がっっ
ばっ……馬鹿な！
引けるわけがっ……無え……っ！
いや！お引きになる……っ！
ご老公なら……確実にっ……！
八時四十五分……ナショナル劇場……！
どんな悪党もそのご威光の前にひれ伏してきた……！

葵の御紋……っ！
がしっ
ぐふふふふふ
来たぞ……
来たぞお……！
バッ
この……
紋所が……っ
目に入らんかぁ～～っ！
葵の印籠

ぎゃっ！
オレがまだ子供の頃…うっかり虫をひねり殺したことがある…
躊躇した事もある…
…今…そんな気分だよ…

八兵衛っ
時代考証
……っ！
あらら
いやぁ
……
こいつはとんだ
うっかりだあ
…………！
こうして…
元禄十三年…
水戸藩二代目
藩主……
徳川光圀絶命
…………！
……
その死因は
伏せられ…
幕府へは病死
として届けら
れた……！

その後のご老公一行
佐々木助三郎と渥美格之進
光圀が始めた「大日本史」の編纂を引き継ぎ後世へと託す
風車の弥七
忍を捨て侠客となり
関八州に名を轟かせる大親分となる
かげろうお銀のその後は不明
湖面に写った己の姿に衝撃を受け
そのまま入水自殺したとも噂される

その後も数々の
うっかりを繰り返し

「神域のうっかり者」
として闇社会に君臨する
事となるのであった

水戸黄門
素性を隠して諸国を漫遊し
悪を懲らしめながら、その傍らで
血液を掛けた印籠麻雀で多くの
若者の命を奪った吸血藩主。
八兵衛との死闘は十年を超えたと
言われる。

うっかり八兵衛
十三歳で初めてうっかりした彼は、
プロのうっかり者・矢木や、
盲目のうっかり者・市川らとの
戦いに次々とうっかりし、
うっかりと伝説を築いていくので
あった。

あとがき

3月22日に水戸コミケットスペシャルが
行われるので、水戸にちなんだ本を発行致しました。

ネタ自体はずっと前に思い付きながら放置、今回の
コミケスペシャルにて丁度良いと描く事を決めて
おりました。

そう言う訳で本来この本は水戸コミケット記念本
なのですが、サークル「STAFF　ROOM」の摩砂きゅ～様に
誘われ福本オンリーイベント「フクモトロジック」へも
参加決定、2月28日発行となりました。久々の福本
イベント、お誘い感謝です。

合体スペースを取る為カイジでの申し込みですが
新刊はアカギ本、カイジ本は既刊のみで申し訳ありません。

何気に１年ぶりの福本本、それも実は初？のアカギ本
となりました。
１年ぶりでも描き方はそんなに忘れてはいなかった
ですが、何気に漫画を描く力自体が落ちてる、これは
泣きたい所です。

この本描く為に久しぶりに水戸黄門観たら、
うっかり八兵衛はちゃっかり八兵衛に、かげろうお銀は
疾風のお娟に代わってたり、風車の弥七は２代目に
なっていたりと色々違ったのですが、やっぱり
水戸黄門は水戸黄門でした。
色々奇をてらった作品も多い昨今、久々の黄門様は
やっぱり安心感がありました。

コレ描く為に一応ウィキペディアとか見てみましたが、
徳川綱吉や柳沢吉保なんかも一般論で言われている様な
人物像では無いとの説も高く、色々勉強になりました。
悪法と言われた生類憐れみの令なども、出来た経緯を
読むと現代と通じる所もあります。
元禄文化華開く時代、長く続く平和の中で文化が
変容していく様は、まさに同人やっている自分に
とっては共感を覚える所もあり、同時に退屈に思っていた
江戸中期の歴史にも興味が沸いたりしたのでした。

と、水戸コミケ的に相応しいっぽい？締めくくりで
終わろうと思います。祝水戸コミケ！ありがとう
フクモトロジック！。

2010年2月28日　サークル「ふぇすた。」　義谷元日

おくづけ
発行日:2010年2月28日
発行サークル　:ふぇすた。
代表　:義谷元日
mail : yoshitani.g@r5.dion.ne.jp
印刷　: くりえい社様

こいつはとんだ

うっかりだ！